

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	植物化学調節学会第53回年会（札幌大会）
演題名	カニクサの造精器と前葉体形成に対するオーキシン及びプロゲステロンの生理機能
発表者	○大石 奈津美 1※、武田 瑞歩2※、星加 名奈美2※、湯本 絵美3、柴田 恭美2、横田 孝雄2、山根 久和 1,2、朝比奈 雅志1,2,3 1；帝京大・院・総合理工、2；帝京大・理工・バイオ、3；帝京大・先端機器分析センター (○；発表者、アンダーライン；本学教職員、研究員、※；本学の学生・大学院生、卒研生) 【植物生理学研究室】
内容	シダ植物の一種であるカニクサ（ <i>Lygodium japonicum</i> ）の造精器は、胞子を暗所でGA4 メチルエステルによって処理することにより、その原糸体上に誘導される。我々はこれまでに、GA4 メチルエステルによる造精器形成とプロトネマ伸長、および光環境下における前葉体形成が、プロゲステロン類やオーキシンによって制御される可能性を見出している。 本学会では、カニクサの造精器・前葉体形成に対する植物ホルモンや生合成・極性輸送阻害剤の効果について、光学顕微鏡を用いて検討した結果について発表した。本研究の一部は、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、私学事業団特別補助（大学間連携等による共同研究）「植物組織における遺伝子発現と植物ホルモンの時空間的解析」による支援を受けて行ったものである。
関連画像	 <p style="text-align: center;">学会会場となった北海道大学キャンパス</p>